

2023 年度第 2 回認知症講演会

2024 年 3 月 22 日(金)沖縄県医師会会議室2F 19:00~20:30

テーマ:不眠症治療の最近の動向~高齢者の治療を考える~

講師:松浦雅人 東京医科歯科大学名誉教授・輔仁会学術顧問

参加人数:31 名(法人内 17名(医師 2 名)・法人外 14 名(医師 2 名))

アンケート回収 23 名 回答率(74%)

1. 認知症疾患医療センターの報告について

よく理解できた:21 名 おおよそ理解できた:2 名 疑問点が残った:0 名

<感想等>

- ・スライド・説明全てがわかりやすくとても勉強になった。
- ・サマリヤ人病院認知症疾患医療センターの役割が理解できた。
- ・丁寧で聞き取りやすく、わかりやすいスライドを通して改めて学ぶことができた。
- ・県内の認知症サポート体制を知ることができました。

2. 不眠症治療の最近の動向~高齢者の治療を考える~

よく理解できた:20 名 おおよそ理解できた:3 名 疑問点が残った:0 名

<感想等>

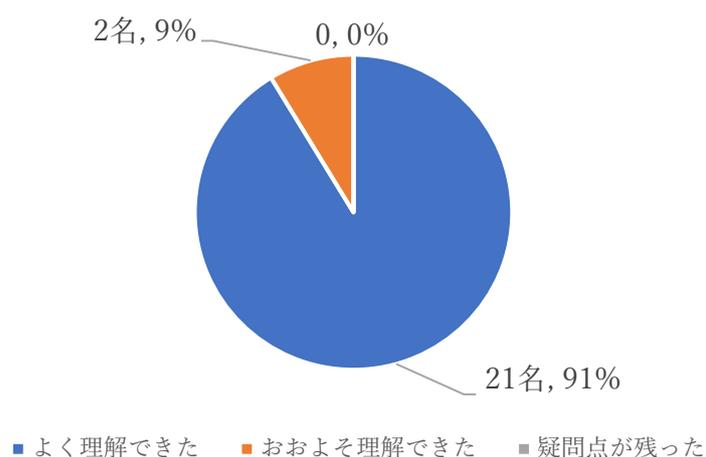
- ・ベンゾ系がもたらす影響について学ぶことができた。
 - ・睡眠の目的や治療の方法を知ることができ、患者への指導と合わせて処方目的を改めて学ぶことができた。
 - ・利用者にもベンゾ系を内服している方が多い(特に内科や整形外科からの処方)ので、専門医への相談も必要だと学んだ。何かあれば相談したい。
 - ・ベンゾジアゼピン系薬剤は認知症発症リスクとなることが分かった。
- 睡眠ガイド 2023 年版が出ていることがわかった。
- ・女性の場合、閉経すると不眠傾向になるとよく聞きます。なぜ不眠になるのか、今回のセミナーで深く学ぶことができました。
 - ・不眠症からなる認知症に興味があり参加しました。また先生のセミナーに参加したい。
 - ・薬剤適応、選択法などわかりやすい説明で勉強になり、今後、患者さん対応などに役立てたい。
 - ・わかりやすく大変勉強になった。
 - ・先生のお話や内容、資料がわかりやすかった。ありがとうございました。
- ライフステージの分類と睡眠時間との関連性が良くイメージできた。また、高齢者への睡眠薬使用時の考慮すべき点を再認識できた。
- ・日常の診療で不眠患者さんへのアドバイスするうえで有用な情報がありました。

- ・様々な視野からの不眠症に対することを学ぶことができた。
- ・認知行動療法の重要性を知ることができました。
- ・適正な睡眠時間は個人差がありますが、1日6時間以上が必要だと学ぶことができた。
- ・睡眠不足にはなんらかの病気が潜んでいる可能性があるなら、早めの対策が必要。
- ・高齢者の睡眠8時間以上にならないことを目安。長い昼寝は避け活動をお勧めすることを意識づけたい。
- ・睡眠の質をよくするために生活習慣が重要である。
- ・不眠で悩む患者さんに対する治療法と説明方法を学ぶことができた。

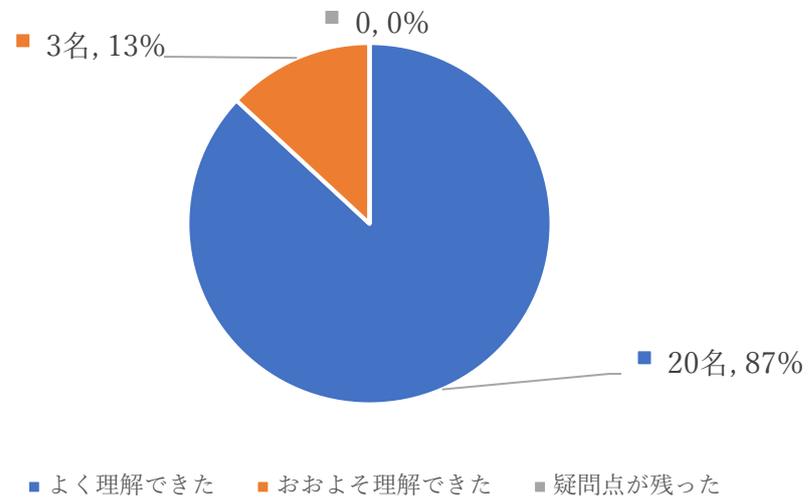
3、今後希望する内容やテーマについて

- ・若年性認知症について学びたい
- ・認知症高齢者に関すること
- ・介護する側が気を付ける点、生活上での注意点など
- ・認知症と精神障害の合併症への対応
- ・睡眠衛生について
- ・不眠症状と不眠症の違いについて

認知症疾患医療センターの報告について（城間直也）



不眠症治療の最近の動向～高齢者の治療を考える～
(松浦雅人 医師)



報告者: 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 城間直也